

観光の ひの

日野市立図書館
☎042-581-7354



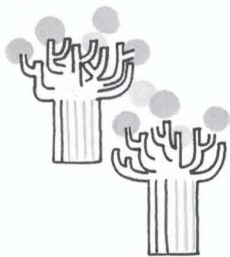
5167151

SWS

日野市の位置

日野市は東京都政区域の西南部で都心より35kmの地に位し、北は多摩川を隔て昭島市、立川市、国立市、府中市に、西は八王子市、南は多摩丘陵を境として八王子市、多摩町に相接している。





沿革

■ 日野という名の起りは、いろいろの説があるが、武蔵名所図絵によると、日野台あたりの地を多摩郡石津郷飛火野と呼んだとある。この飛火とは「のろし」のことで国府が置かれた時代にのろし台が設けられ、和銅年間(文武天皇1250年前)諸国の地名は嘉字二つを選んで名づけよとあって、これが火野となり、のちに日野と改めたとされている。

明治維新の大業により、江戸は東京と改まり首都となった。この頃から甲州街道は日ましにせわしくなり、当時は旅館十余軒、多摩川の渡船場をもつ宿場町として栄えた。

この頃は、行政上の区域や管轄が幾度となく変ったが、明治34年に桑田村を合し、旧日野町が形成された。

市政

一方旧七生村は、明治22年の村政施行に際し、高幡、南平、平山、程久保、三沢、落川、百草の7ヶ村と飛地と合わせて七生村となった。

地域発展の足がかりをなした甲武鉄道(現在の国鉄中央本線)は明治23年に新宿～八王子間が開通し、また一級国道20号線(甲州街道)の立川と日野を結ぶ日野橋は、大正15年に架橋された。一方大正14年には旧七生村を東西に貫通する玉南鉄道(現在の京王帝都電鉄)が開通した。

明治、大正、昭和の初期までは農業を中心に繁栄し、それだけに人口は自然増加のみの時代であったが、昭和10年頃を契機として機械工業の進出が相つぎ、戦前10指に及ぶ工場が設立され、久しく静寂を保っていた農村は、工業都市へと様相を変えてきた。戦後の国内経済復興につれ、立地的に恵まれている当地へは、大小合わせ110社の工場が設立され、これに伴い人口は年々増加し、昭和33年2月1日、日野と七生村は両住民の合意により合併、人口27,818人の新日野町が誕生した。

この頃より東京都における人口の重心は三多摩地域へと移動し、23区に隣接した市町をはじめ、国鉄沿線について特に増加傾向が強くあらわれた。

当市も新町誕生と同時に開発された多摩平団地を始め、その他10指に余る集団住宅の開発等によって人口は飛躍的に増加し、昭和38年11月3日、都下12番目、全

国559番目の市として「日野市」が誕生した。

その後も、住宅団地等の開発により人口は増加の一途をたどり、市では都市計画に基づく区画整理をはじめ、上水道の全地域給水、環境整備、商工業の発展、交通通信施設の完備、教育、文化、福祉施設等の拡充を図り、文化的な都市造りのために邁進している。

面積及び地勢

■ 面積は27.11km²で、東西に7.5km、南北に5.85km。沖積土からなる平坦地が開けているが、西北部は洪積土による台地が形成され、南部は標高105mの多摩丘陵があり武蔵野の風景を一望のうちに収めることができる。

西北部の台地は昭和10年頃より大工場が進出し、一大工業団地を形成しているが、近年、住宅団地の開発も著しく、日本住宅公団が手がけた多摩平団地は日本有数の大団地として知られている。

市内のほぼ中央を貫流する浅川及び北側を西から東へ流れる多摩川の両河川は、市の東南端に於いて合流し、この流域に肥沃な水田地帯があり都下有数の穀倉として知られている。



早春の百草園



百草八幡宮



楽しい集い

百 草 園

■ 梅の名所で、鎌倉時代の「松連寺」の旧跡。太田蜀山人をはじめ「小波」「桂月」「蘇峰」など明治の文人墨客が多く訪れている。歌人「若山牧水」もここに遊び詩歌を残している。

今も歌会、句会の集りがさかんで、花見塚には芭蕉の

志ばらくは 花のもとなる 月夜かな
の句碑がある。

南隣りの、百草八幡宮の祭神「応仁天皇像」には、源義家の記銘がある。

- 梅のみごろ 2月中旬～3月中旬
- 見どころ 早春の梅林、秋の紅葉、松連寺跡の名園、百草八幡宮、百草観音、樟の群生。
- 京王線百草園駅下車徒歩10分

庭 園



芭蕉句碑



松連庵



弁 天 池

仁王門と不動堂

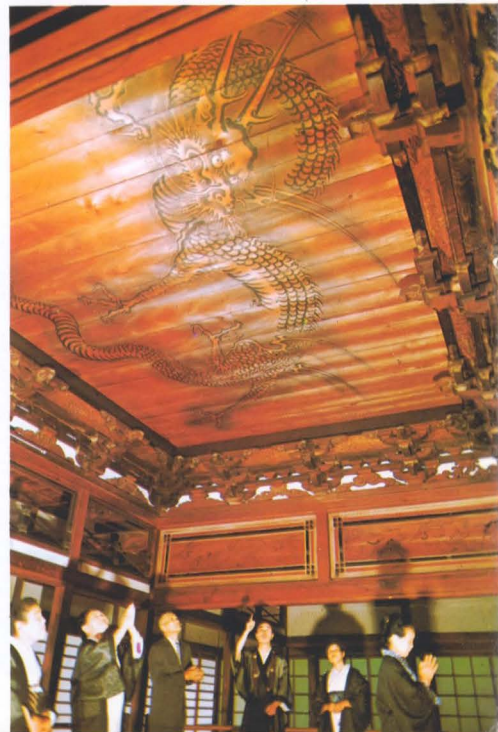


警視庁交通機動隊の初詣



鳴 り 竜 (江戸時代)

■ 大日堂天井に描かれた、狩野派の画家法眼「田公実」の大作で、竜の下で拍手すると妙音を発し願い事が叶うと伝えられるところから「鳴り(成り)竜」と呼ばれている



国宝高幡不動尊

(真言宗智山派別格大本山)

■ 慈覚大師が、清和天皇の勅願を受けて
建立したもので、不動堂・仁王門は共に
国宝に指定されている。

身の丈3メートルに及ぶ不動明王の座
像をはじめ、源氏にゆかりの各種重要文
化財がある。



大師堂



五部権現社殿

年中行事

1月元旦・2日・3日 元朝祈願大護摩修行

厄除ほのほうちわ授与

1月15日 初弁天祭 厄病除牛王宝印印可

1月21日 初弘法大師

1月28日 初不動大祭

2月節分 豆撒式 午前11時から夕刻まで数回ご修行
だるま市 厄除ほのほうちわ授与等

2月15日 涅槃会 (釈尊入滅法要)

3月21日 弘法大師正御影供 (彼岸会)

4月8日 花まつり (釈尊降誕会)

4月28日 春季大祭 国宝まつり
稚児練供養 動物のお参りパレード等

5月28日 正五九例祭

8月15日 うら盆大施餓鬼法要

9月28日 秋季大祭 大般若会

11月15日 七五三詣

12月冬至 星まつり

12月28日 納めの不動尊 年の市

12月31日 除夜の鐘供養

※尚 毎月28日はお不動様の御縁日です。



芭蕉句碑



近藤、土方両雄の碑



交通安全祈願所風景

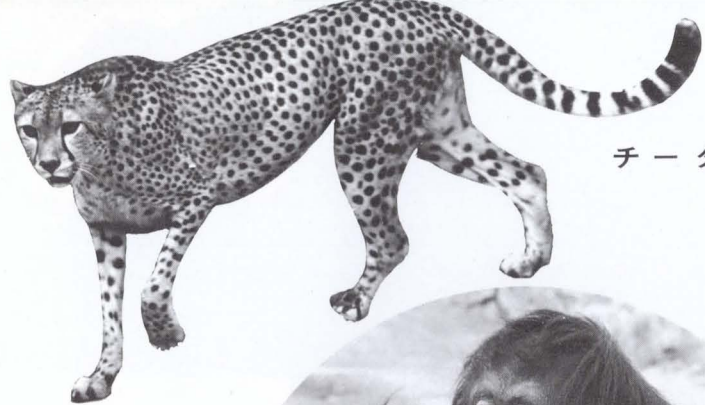
- 京王線、高幡不動駅下車 徒歩3分
立川、日野駅より京王バスにて高幡不動下車



都立多摩動物公園

■ 広大な多摩丘陵自然公園の中にひらかれた施設で、動物を自然に近い状態で観察できる。
バスに乗ったままライオンの群に近づくことの出来る「ライオンバス」は世界でも珍しい。

- 開園時間 午前9時～午後4時30分（但し切符を売るのは4時まで）
- 休園日 12月29日～31日
- 京王線、動物園下車、日野、立川駅より京王バス、動物園前下車



チーター

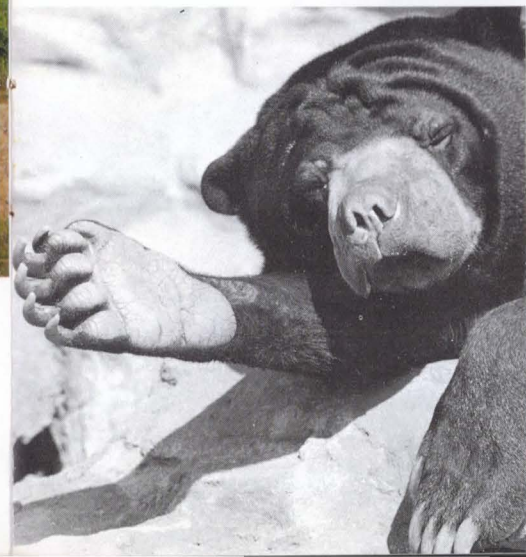


オランウータン



キリン

マレーグマ



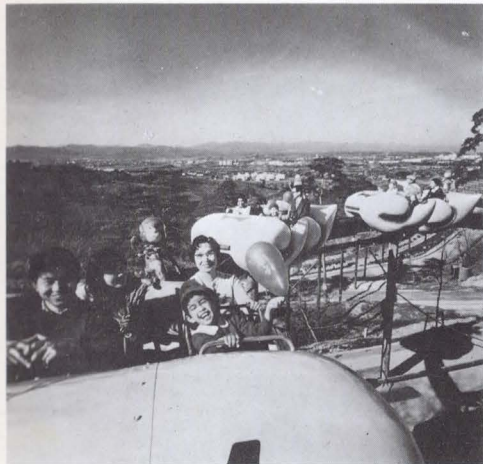
シロオリックス



インドサイ







飛行雲



プール



バギーカート



レーサー



エンジン教室

多摩テック

■さわやかな多摩丘陵にひろがる

多摩テック——

あたたかい心が通いあうバカンスを、タ
ップリと味っていただけます。

■若さあふれる自動車遊園地——

多摩の自然をみごとに生かした立体コー
スをエンジン付きのクルマが縦横に走る
ダイナミック遊園地。澄んだ空気を胸い
っぱいに、富士・秩父連山を眺めての散
策は、多摩テックならではの雄大な楽し
さです。

■プール——

はちきれぬ若さと健康的な喜びでにぎわ
う円形プールは夏の人気もの。もちろん
水着のままで、おとぎのクルマの運転も
OKです。

■エンジン教室——

ホンダランドが独自に開発した小型エン
ジンの分解、組み立てをはじめ、講師の
きめこまかい指導や映画、スライド等
により総合的に学べるユニークなエンジン
教室です。

■レストラン——

多摩丘陵を一望におさめるレストランや
家庭ムードの清潔な休息施設など、多摩
テックの一日は豪快な喜びとファンタス
ティックな楽しさで満たされます。



平山城址公園



■ 平家物語の宇治川合戦で有名な平山季重の城址で、六国台の眺めは、遠く武蔵野台地をはじめ、秩父、奥多摩、富士、丹沢山塊とまことにすばらしい。

山上の平山資料館には、珍しい標本が展示されている。

● 見どころ

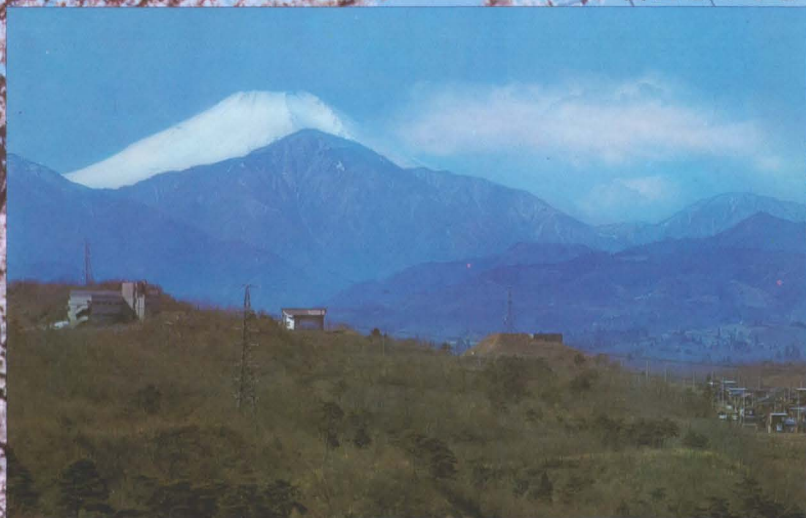
六国台の眺望、季重神社、平山資料館

● 京王線、平山城址公園下車徒歩10分

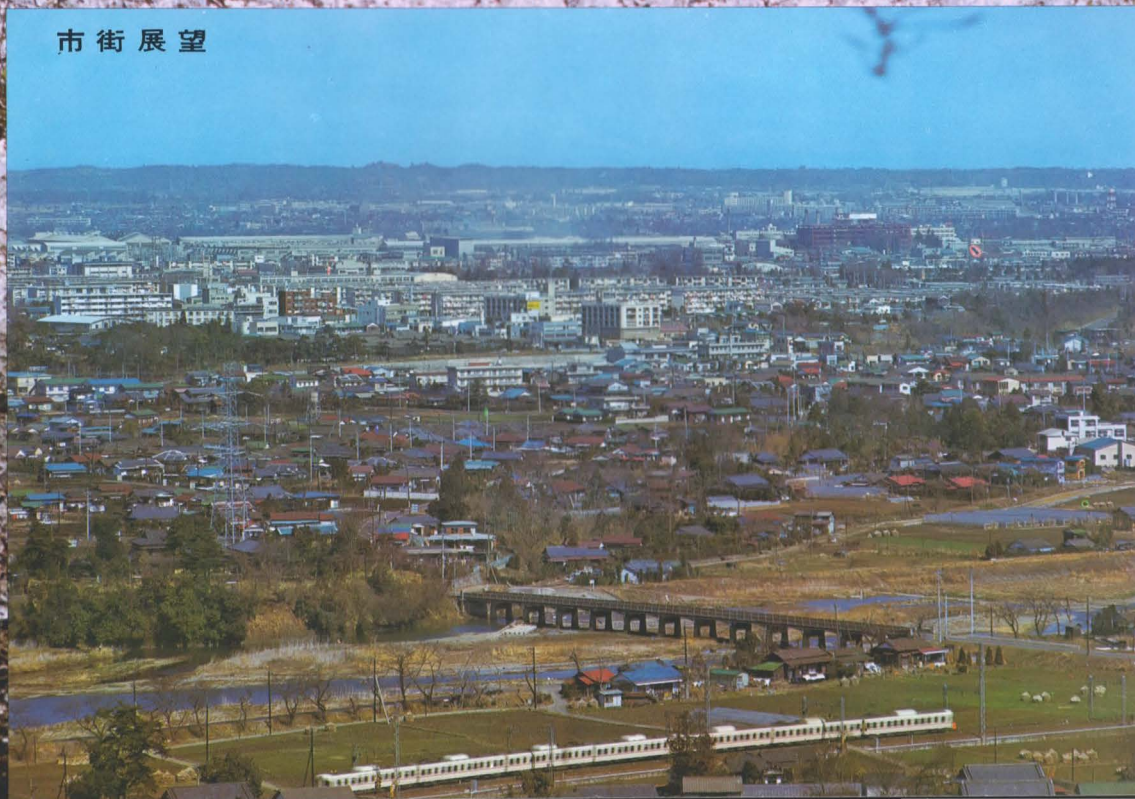


季重神社

富士をのぞむ

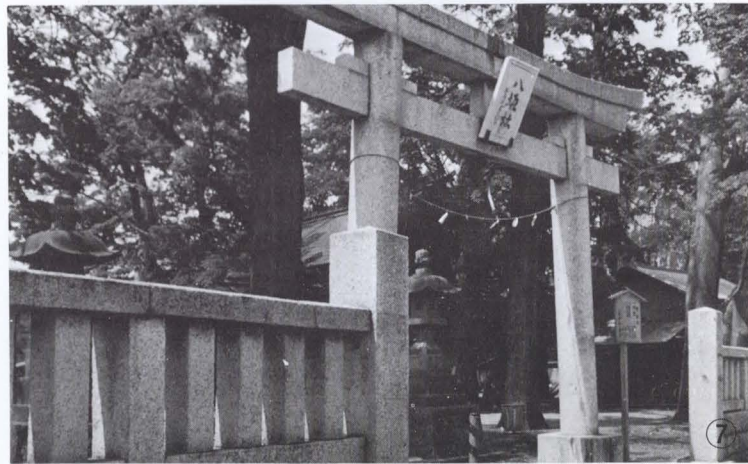


市街展望





- 1 新撰組土方歳三の生家
- 2 豊田駅前
- 3 七ツ塚
- 4 東光寺安産薬師
- 5 文永の大板碑
- 6 田村山安養寺
- 7 八坂神社





日野特産の「花」

■ 日野市の農家で栽培されている花は、生産者の熱心な経営が成果をあげている。温室の中ではポットマム、シクラメン等で目をみはるばかり、四季を通じて色とりどりの花が咲きみだれている。

近郊都市に出荷され好評を得ている。



日野名産「多摩川梨」

■ 多摩川沿岸には、梨を主体とした果樹栽培が行われているが、近年、観光をかねての「梨のもぎとり」が人気を呼び、訪れる人が多い。



日野のあゆみ

日本のできごと	世紀	日野のできごと
縄文式文化、弥生式文化起る。 仏教伝来 538 17条の憲法 604 大化の改新	1~7	東光寺上、堀ノ内、豊田原あたりから発掘した土器、石器、石だたみ等により、村落があったことがわかる。 のろし台 飛火野の地名。
大宝律令 701 東大寺大仏完成 749 諸国に国分寺を建つ。阿倍仲麻呂唐に死す。 僧円仁唐より帰国す 846 円仁に慈覚、最澄に伝教の大師号 866 菅原道真 大宰府に流さる 901	8~9	現在の府中市に国府が置かれ、日奉宗頼国司として着任する。 多摩川を越えて、住民の往来があり、大陸との交易により、織物、工芸等さかんとなる。 調布、布田等の地名。 宗頼の孫宗忠、東光寺上に居館をきづく。
前九年の役始る 1056 源頼義 衣川の柵に安倍兄弟を討つ 1062 源義家 陸奥守兼鎮守府将軍となる 1083 保元、平治の乱起る 1156 平清盛大政太臣となる 1167 平氏一族壇ノ浦に滅亡す 1185	10~12	日奉氏一族、武蔵七党の西党首領として源氏に属し多摩川、秋川一帯にわたる一大勢力となる。その支族 立川平山氏等21家。 源頼義、奥州征討の途次、百草八幡宮に戦勝祈願、高幡不動の旗かけ松 1062 平山季重、宇治川合戦に勇名をあげる 1184
御成敗式目を定め、供養卒塔婆建つ（貞永式目）1232 蒙古軍来襲、文永の役 1274 元軍来襲 弘安の役 1281 足利尊氏征夷大将軍となる 1338 金閣寺完成 1398	13~14	源頼朝の功臣 和田義盛、北条時政に討たれ、和田方に味方した日奉氏一族及び横山党等亡ぶ 1213 文永の大板碑 1271 大風により不動堂倒壊 1330
応仁の乱起る 1467 上杉憲顕、足利成氏と分信河原に戦う 1455 秀吉の小田原攻め 1590 東海道など五街道開く 1601 家康征夷大将軍となる 1623 赤穂浪士の仇討 1702	15~18	八坂神社中興 1432 田村山安養寺建立 1524 阿弥陀如来座像（都重宝） 北条氏照により大昌寺建立（説法色葉集） 甲州街道開く。日野宿一里塚 1602
ペリー来航 1854 大政奉還 1868 廃藩置県 明治4年 1871 第1回帝国議会 明治23年 1890	19	土方歳三 函館に死す。明治2年・1869 神奈川県第32区に編入され、東西南北の四郡となり南多摩郡に属す。明治11年 1878（東京府移管は明治26年） 甲武鉄道が八王子迄開通する。明治22年
皇太子殿下 御結婚式 昭和34年 1959 東京オリンピック 1964 明治百年	20	京王電鉄開通する。大正4年 1927 日野町と七生村合併。昭和33年 1958 多摩動物公園開園 昭和33年5月 市制施行 昭和38年11月

市内文化財一覧

区分	名称	指定	所在地	所有者
国、重要文化財	金剛寺不動堂	文部省	高幡695	金剛寺
"	金剛寺仁王門	"	"	"
"	銅造阿弥陀如来像	"	百草867	百草八幡神社
都重文(建造)	金剛寺五部権現社殿	東京都	高幡695	金剛寺
"(彫刻)	木造阿弥陀如来像	"	下田31	安養寺
(史跡)	平山季重の墓	"	平山3061	宗印寺
都重文(典籍)	説法色葉集	"	日野3198	大昌寺
建造物	薬師堂	日野市	"4843	成就院
"	坂下地藏堂	"	"5707	横町自治会
"	八坂神社本殿	"	"2541	八坂神社
"	安養寺本堂	"	下田31	安養寺
絵画	涅槃繋図	"	日野3323	宝泉寺
彫刻	薬師如来像	"	"4897	成就院
"	平山季重木像	"	平山3061	宗印寺
"	平山薬師如来木像	"	"	"
"	日奉地藏	"	"	"
"	百草観音	"	百草849	百草自治会
"	昆沙門天立像	"	下田31	安養寺
"	阿弥陀如来像	"	日野3549	四谷自治会
典籍	大政官制札	"	落川640	中村直男
考古資料	七ツ塚古墳	"	日野	"
史跡	百草園	"	百草560	京王電鉄
"	竹間加賀入道の墓	"	日野4365	佐々木徹
"	甲州街道万願寺一里塚	"	下田49	岩沢哲夫
"	東光寺大橋の碑	"	日野5064	東光寺自治会
"	大昌寺開山讃譽上人の墓	"	"3198	大昌寺
"	玉川居祐翁の墓碑	"	"3199	"
"	豊田堀之内耕地整理の碑	"	豊田201先	教育委員会
"	平山季重遺跡の碑	"	平山559	"
"	平山陸稲発見者林丈太郎墓碑	"	"3061	宗印寺
"	殉節尚雄の碑	"	高幡733	金剛寺
"	延命寺文明の板碑	"	川辺堀之内552	延命寺
"	文永青石塔婆	"	南平	平清春
"	天平松連寺跡	"	百草560	京王電鉄
"	旧東光寺跡	"	日野4843	成就院
"	落川村制札場遺跡	"	落川640	中村直男
天然記念物	百草八幡権榎の林叢	"	百草867	青木広吉
"	八坂神社林叢	"	日野2541	八坂神社
工芸	刀	"	新井60	土方康
古文書	北条氏印判状	"	日野2761	佐藤昱
"	三沢衆文書	"	高幡690	土方義春

日野観光協会制定

日野音頭

一、日野はよいとこ 武蔵の広野

空の青さと 水のよさ

町は繁昌の 意気の良さ

(雌)ヨイヨイ 来てみな 住んでみな

日野は ヨイヨイ ヨヨイがヨイヨイ

二、多摩の自然に おとぎの国の

夢を築いた 動物園

ここは日本の アフリカさ

ヨイヨイ 来てみな 住んでみな

日野は ヨイヨイ ヨヨイがヨイヨイ

三、日野の自慢は 高幡不動

かけた願いが 叶うでか

秋にやあの娘も 嫁にゆく

ヨイヨイ 来てみな 住んでみな

日野は ヨイヨイ ヨヨイがヨイヨイ

四、四季を彩どり 咲く花々よ

春は花見の 百草園

秋は平山 ハイキング

ヨイヨイ 来てみな 住んでみな

日野は ヨイヨイ ヨヨイがヨイヨイ

五、日野の踊りは 町中総出

多摩の瀬書も 浅川も

唄に浮かれて 音頭とる

ヨイヨイ 来てみな 住んでみな

日野は ヨイヨイ ヨヨイがヨイヨイ



(38. 11. 3 制定)

日野市章は、日野の日の字を丸くして、炎の如く燃えさかり発展して行く様を象徴している。

TEL (0425)81-3511

日野市・日野観光協会

東京都日野市2900

